事業所名：グループホーム第二みほの

作成日：　平成30年12月21日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束適正化についての研修や勉強会が定期的に行われていない。家族に身体拘束の弊害についての説明が出来ていない。	事業所内で研修や勉強会を行い、職員の知識を深めると共に取り組みについて検討し、身体拘束ゼロを目指す。	12月26日に身体拘束についての勉強会を行う。今年度中にもう1回研修や勉強会を実施する。外部評価中に身体拘束を行っていた利用者については、ベットを低床にし、マットを敷く等にて対応しており、現在は身体拘束ゼロに出来ている。	3か月
2	52	利用者の人数に対し、ソファーの数が少なく、職員目線で配置されている。利用者が居心地よく落ち着いて過ごせる空間が少ない。	利用者がゆったりとくつろぐ事ができる、居心地の良い空間になるよう工夫する。	リビングにソファーの数を増やし、利用者の意見を聞きながら、利用者目線での配置を行う。	3か月
3					か月
4					か月
5					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。